

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

学校名

鹿島市立浜小学校

B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1前年度評価結果の概要

・課題とされた総合的な学習の時間の見直しは5年・6年生で実行し、新たに内容や人材を開発することができた。さらにより良い内容に改善するとともに、その学年を3・4年生まで広げる。
・「運動・体力アップ」の項目は、「2024 浜小全員アスリート計画」や体力アップ週間等を行事計画に盛り込み、楽しく運動して体力をアップできるようにする。
・キャリア教育は、昨年以上に県の事業や地域人材を活用し、より多くの体験学習を行うことができた。次年度はその内容を整理しつつ実行し、足りなかったと思われる職業選択につながる取組を増やしたい。
・算数科の校内研究、学習状況調査の結果を活用した研修等を取組み、成果が見られたが、今年度から取り入れているデジタルドリルは活用の仕方に学年によって偏りがあり、適時に効率よい取組の方法を検討する必要がある。
・校内の各部会が組織的に機能し、多くの項目で達成・改善が見られた。

2学校教育目標

ふるさと愛する・光の子の育成

3本年度の重点目標

①自ら学び続ける子供の育成「ひびきあう子供部会」（知）
②思いやりのある子供の育成「かがやく子供部会」（徳）
③たくましい子供の育成「りっぱな体部会」（体）

4重点取組内容・成果指標

中間評価

5最終評価

(1)共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	○「おすずめの本」完読率94％以上	・日々の図書委員会の取組や教師の声かけなどによって、読書推進を図る。 ・みんな読、読書集会、図書館祭り、家庭読書などの取組を充実させる。		*		*		*	・学力向上対策コーディネーター ・ひびきあう子供部会
	○算数科を中心に、主体的に学びたいような授業方法の確立	○「算数が好き・まあまあ好き」と回答した児童が80％以上。 ○「問題をなんとかして解こうとしている」と回答した児童が80％以上。	・主体的に学習に向かうように、単元構成や対話活動を工夫する。 ・学習習慣や学習環境、朝の特設タイムを充実させる。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達の良いところを褒め合おう」と回答した児童95％以上 ○「子どもは元気にあいさつができる」と回答した保護者87％以上 ○「家族や地域の人にも元気にあいさつをしている」と回答した児童95％以上	・年に1回以上、ふれあい道徳や人権週間を計画し、他者を思いやる気持ちを育む。 ・道徳や学活、日常生活の中で友達のいいところを見つけ、全校放送で紹介したり、ありがとうの木に掲示したりする。 ・5、9、1月をあいさつ強化月間とし、友達や地域の方に自分から進んであいさつをするよう呼びかける。		*		*		*	・かがやく子供部会 ・人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめや不登校等の未然防止への「組織的な対応ができている」と回答した職員88％以上	・いじめ対応についての研修を行う。 ・「あのねアンケート」を定期的の実施し、悩みや不安を抱える児童との面談を行い、継続的に見守る。 ・長期休暇前後に不登校チェックシートを使って、児童の状態を確認し、対応する。 ・週1回、配慮を要する児童についての共通理解の場を設定する。 ・SC、SSWと連携し、児童や保護者との面談を実施し、ケース会議で取組等の確認をする。		*		*		*	・かがやく子供部会 ・生徒指導担当者
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童90％以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童90％以上	・日々の観察を全職員で協力しながら行い、全校児童を1年間て1回はほめる。 ・キャリアパスポートを活用し、定期的にふりかえりを行い、児童への意欲付けを継続的に行う。				*		*	・かがやく子供部会 ・教務主任
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●「よく運動したり、体を動かしたりして遊んでいる」と回答した児童95％以上	・11月から昼休みにマラソンチャレンジを実施する。 ・スポーツマンスリー期間を設定し、体を動かす機会を確保する。 ・スポーツチャレンジの実施を呼びかけ、全校で実施する。				*		*	・りっぱな体部会 ・保健主事
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童90％以上	・朝ごはんについて、毎週火曜日に調査する。 ・食に関するポスター等を毎月掲示する。 ・配膳表を通して食への興味・関心を高めさせる。 ・各学年の実態に沿った食育の授業を全学年年間一回以上実施する。(6月:2年生、10月:3年生、11月:5年生、12月:4年生、1月:6年生、1年生:9月給食試食会) ・給食時間に給食目標に沿った放送を行う。 ・手洗い、配膳、食事マナーなど日常的な給食指導を継続的に行う。		*		*		*	・りっぱな体部会 ・保健主事 ・学校栄養職員
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●「学校の行き帰りは事故に遭わないように注意している」と回答した児童93％以上 ●地域と連携して、年三回の防災訓練を実施	・関係機関と連携し、交通安全教室や避難訓練を実施する。 ・登下校時のPTAや交通指導員との協力体制を維持、継続して、危険箇所を早期に見出し指導する。 ・自然災害時の下校等の対応について確認する。		*		*		*	・りっぱな体部会 ・安全教育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合10％以下	・時間外在校時間月平均25時間を目標にする。 ・定時退勤推進日を毎週金曜日に設定する。 ・休暇が取りやすいように声をかけ、年休の取得を促す。 ・サーバーの整理とICT活用で、効率化を図り、会議時間を短縮する。				*		*	・管理職
●特別支援教育の充実	○児童の特性に応じた効果的な学習活動の構築	○個別的教育支援計画・指導計画・レベルシートの作成100％ ○情報共有を定期的に行う(月1回)。 ○「学校は、特別支援教育について積極的に取り組んでいる」と回答した保護者90％以上	・期間を設けて、支援計画や指導計画、レベルシートの作成をする。特別な支援が必要な児童については、定期的な面談を実施し、保護者との情報を共有し作成する。 ・年3回の情報共有会議と毎週の児童連絡会の時間を設定する。 ・年3回の研修会の設定。支援学級において、定期的に学級経営会議を行う。		*		*		*	・特別支援コーディネーター ・教育相談担当

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
○「ふるさと学習」の充実	○地域と連携した教育活動の推進	○「ふるさとが大好き」と回答した児童95％以上	・「水とまちなみの会」等との地域連携を図り、夏休みに職員研修で職員が重伝建地区を知る研修会を行う。 ・児童が自慢できる魅力ある浜町の発見につながる総合学習の内容改善と実施を進める。		*		*		*	・かがやく子供部会 ・教務主任 ・主事

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5総合評価・次年度への展望